

寄居若者会議 第4回ミーティング

日時：2021年8月30日（月） 20:00~22:00

場所：オンライン

出席者：石田・清田・西田・野沢・上田・まちづくり寄居 野原・総合政策課 加島

ゲスト：寄居オーガニックカウンスル 柴崎代表・権田副代表

1. 木島さんインタビュー経過報告

- ▶ 8月16日～順次実施 西田・舍利弗・小野田・野沢・木附 計6人終了
(清田・関口・丹野はこれから) 合計9人予定
- ▶ インタビュー記事のHPへの掲載は、まとめてよりも、毎週〇曜日とか小出しの方が効果的か。
- ▶ インタビューを受けての感想
 - ・ 生い立ちなど振り返ったことによる気づきがあった。
 - ・ 自分がしたかったことが、ぼんやりしていたが明確になった。
 - ・ 普通だと結びつかないような人と出会って来たんだという、振り返りになった。
- ▶ 全員インタビューが終わったら、木島さんから感想を聞く機会があってもいいのかも。

2. 寄居オーガニックカウンスルについて

(1) 寄居オーガニックカウンスルの活動

- ▶ 有機農家を応援したい人と有機農家の4名でスタートし、設立3年目。
- ▶ 100人カイギで出会ったメンバーで、有機農家を応援しよう、寄居で自然を大切に
にする人たちを集めようといった趣旨で設立。
- ▶ マルシェなどで有機農業を知ってもらおうということで、最近の取り組みとして、
毎週金曜日16:30~18:00で、みなみ寄居駅で、ホンダ社員向けに寄居の有機
農業やパンなどの販売している。
- ▶ 昨年度は、農水省の「農泊推進事業」に採択されて、体験型検索サイト「アソビ
ュー！」へのコンテンツ作りを行った。
- ▶ 今年度も「農泊推進事業」の2年目に採択され、コンテンツの磨き上げやウェブ
サイトの拡充を行う予定である。

(2) 若者会議とのコラボの提案

<寄居オーガニックカウンスルより>

- ▶小林地区に横手園という無農薬栽培のみかん園がある。
- ▶同地区はハイカーの方も多いので、みかん狩りの時期だけでなく、通年でみかん園に立ち寄ってもらえるような仕掛けにしたい。
- ▶具体的には「天空のみかん園」をイメージして、展望デッキを設置、茶室みたいに利用できる形にしたい。
- ▶同じみかん園の取り組みとして、チルドレン風布が活動しているが、そちらとのかかわりはない。
- ▶想定するデッキはおよそ 12 畳分で、費用は最低 50 万で、その他整備費用も想定される。
- ▶ミカン園の裏には荒れていないヒノキ林がある。ツリーハウスなどの活用できたらいいなと考えている。

<若者会議側>

- ▶場当たりに、困っているから助けようではなく、中長期的な視野に立つことが大事なポイント。
- ▶中間平と風布地区・小林地区という点が線となり、面となるようなツアーができるといいかも。
- ▶ただデッキを作るだけではなく、お金が落ちるようなものも。例えばジェラート、精油など…。その場合アグリ館を加工場所として活用できないのか？
- ▶全国でも無農薬みかんに携わりたい人は多いのでは。若者会議メンバーだけでなく、外から人材を募るのもおもしろそう。
- ▶できるか、できないかだと行き詰ってしまう。一緒に夢を描ける仲間を募るような形。
- ▶マンパワーが難しければ、意見やアイデアを出すこともできる。また、寄居に興味をもってもらうようなPR、広報活動をすることもできるのでは。
- ▶町内外問わず、みんなの「やりたい」が集約できるといい。
- ▶一企業を応援する形が前面だと、町としての立場もあるので、工夫が必要か。
- ▶デッキを作る前に、ファンを作る、アイデアを出してもらう、など企画段階から携われる形の方が良いのでは。
- ▶寄居オーガニックカウンスルの打合せはオンラインで月 1 回程度あるとのこと

なので、今後も若者会議メンバーが適宜参加させていただくなどして、連携していくこととする。